

天竜四季の森舞踊団

演出／吉崎裕哉

×

天竜四季の森音楽団

音楽／鈴木のぞみ

舞踊と音楽で彩る天竜の四季 翠色の光の物語

桜舞う春、初夏の螢、風薫る夏、山粧う秋、冬のむつのはな・
移りゆく天竜の風景から生み出された音楽とともに、総勢27名のダンサーが
四季折々の情景を華やかに彩り、天竜の森へと誘います。国内外で活躍する舞踊家・
吉崎裕哉の演出による舞踊と音楽の饗宴。壬生ホールにて世界初演。

2023 浜松市天竜壬生ホール

8/26 (土) ① 11:30 開演
② 14:00 開演

各回終演後 アフタートークあり

主催 | 天竜四季の森
協力 | SPUTNIK
助成 | (公財) 静岡県西部しんきん地域振興財団

Ticket Information

【前売券】 一般 ¥2,000 小学生以下 ¥1,000

【当日券】 前売券料金 + ¥300 未就学児無料

※未就学児も席が必要な場合はチケットをご購入ください。

【WEB チケット】 6/1 ~

■ 天竜四季の森 公式サイト

【店頭販売】 7/1 ~

■ 浜松市天竜壬生ホール 053-922-3301

■ アクトシティチケットセンター 053-451-1111



詳細はこちら

舞踊と音楽で彩る天竜の四季 翠色の光の物語

ここは、北遠。海から遠く離れた、天竜の森。
そこには、諏訪湖からはじまって、うねりくねり、
遠州灘までをつなぐ、大きくて長い天竜川が流れる。
これから始まるのは、この天竜の森の、移りゆく四季の物語です。

舞踊 天竜四季の森舞踊団

市川右京、岡本笑真、神谷風海、後藤日茉莉、小林羽衣、小松いる茉、酒井裕菜、佐藤美月、春藤彩良、杉浦奏葉、鈴木舞子、鈴木百花、鈴木凜、高橋明日香、田中心愛、中島結希、中村珠吏、中村つく偲、浜名芽生、古屋羽海、細野琴芭、松本美樹、八木蘭子（五十音順）

簡麟懿、仁田晶凱、土田貴好、吉崎裕哉

音楽 天竜四季の森音楽団+天竜四季の森声楽アンサンブル

天竜四季の森音楽団

ヴァイオリン 西川奈穂、フルート・ピッコロ 世古美月、クラリネット・オカリナ 松島花帆莉、
マリンバ 斉藤珠希、コントラバス 篠田淳、ピアノ 宮川真由美、パーカッション 古川春美、
作編曲・歌・朗読・大正琴・エアロフォン 鈴木のぞみ

天竜四季の森アンサンブル

ソプラノ 中濱美佐、アルト 萩原順子、テノール 新井拓人、バリトン 森道太郎



演出 吉崎裕哉

2012年から6年間、日本初の劇場専属舞踊団Noismに所属。東京パラリンピック2020開会式、NHKバレエの饗宴、NHKニューイヤーオペラ、メジャーリーグ開幕戦オープニングアクトを始めとしてこれまでに国内外50都市以上の公演に出演。振付家として新国立劇場主催公演、バレエ協会主催公演にて作品を発表。

音楽 鈴木のぞみ

作・編曲家。浜松市天竜区龍山町出身。風景のある音楽をテーマに、移りゆく日本の四季を伝える環境音楽を制作、映像BGMやテーマ曲等を手掛ける。2019年東京から地元へ拠点を移し、2020年「天竜四季の森音楽団」を設立・主宰、天竜川の四季風景を伝える活動を行う。自身が山で育ち親しんだ音遊びをもとに、育成ワークショップ等も実施。

振付 土田貴好

舞踊家・振付家。1989年新潟県生まれ。2012年Noism company Niigata Noism 2にて1年間研鑽。2018年文化庁新進芸術家海外研修生としてドイツ・ベルリンにて活動。帰国後は、新潟に拠点を置き地域社会と接点を持ちながら、舞踊の在り方を念頭に、自主公演や後進の育成などに積極的に取り組んでいる。

舞台監督 川口真人 / 楽団付人 中小路太志 / 音響 BandNightStaff / 照明 久津美太地 / 衣装 朝長靖子

浜松市天竜壬生ホール

浜松市天竜区二俣町二俣 20-2 ☎ 0539-22-3301

【駐車場のご案内】

- ・お車の乗り合わせや、公共交通機関での来場にご協力ください。
(天竜浜名湖鉄道 天竜二俣駅より徒歩7分)
- ・会館無料駐車場(147台)が満車の場合は、天竜二俣駅西の
臨時無料駐車場(会場徒歩5分・約30台)をご利用ください。



主催 天竜四季の森 協力 SPUTNIK